

東京応化工業株式会社 決算説明資料

-2026年12月期 第1四半期決算-

tok

2026年5月11日

東京応化工業株式会社

2026年12月期 第1四半期 サマリー

2026年12月期 第1四半期実績

- 売上高は、前年同期比128億円 (+23.6%) 増収の670億円。
スマートフォンの需要が低調に推移したものの、生成AI関連向け需要が好調に推移したことにより、エレクトロニクス機能材料・高純度化学薬品ともに大幅な増収。
- 営業利益は、前年同期比52億円 (+53.8%) 増益の150億円。
売上高の増加により大幅な増益。

2026年12月期 業績予想

- 2026年2月9日公表の業績予想から変更なし（上期、通期）
- 顧客の需要動向は引き続き先端分野を中心に強い状況が継続。
2Q以降原材料価格の上昇が想定されるものの、製品価格転嫁などの施策を実施。
- 前提条件
生成AI関連の需要増加および顧客の新工場稼働開始等を見込む。
想定為替レート 148.6円/ドル（2025/12実績）⇒ 150.0円/ドル（2026/12期）
- 足元の市況や当社製品の採用状況により、前年度より**大幅な増収増益**を予想。
売上高2,610億円 (+10.1%)、営業利益522億円 (+10.2%)。

株主還元

- 2026年2月9日公表の数値から変更なし
- 純資産配当率（DOE）4.0%を目途とする配当方針のもと、
中間配当 40円、年間配当 80円を予想。
- 9期連続の増配予想を堅持。

(百万円、%)

	2025/12 1Q	2026/12 1Q	増減	増減率(%)	上期計画	進捗率(%)
売上高	54,272	67,077	+12,805	+23.6	125,000	53.7
エレクトロニクス機能材料	27,751	35,795	+8,044	+29.0	66,800	53.6
高純度化学薬品	25,595	29,986	+4,390	+17.2	55,900	53.6
その他	925	1,295	+370	+40.0	2,300	56.3
営業利益	9,801	15,074	+5,272	+53.8	24,300	62.0
経常利益	9,843	15,374	+5,530	+56.2	25,500	60.3
親会社株主に 帰属する四半期純利益	7,526	11,725	+4,199	+55.8	16,000	73.3
EBITDA	11,866	17,714	+5,848	+49.3	29,800	59.4

期中平均為替 (USドル) : 151.3円/ドル (2025/121Q) ⇒ 155.9円/ドル (2026/121Q)

■ 売上高

: スマートフォンの需要が低調に推移したものの、生成AI関連向け需要が好調に推移したことにより、エレクトロニクス機能材料・高純度化学薬品ともに大幅な増収。
前年同期比+23.6%の増収。

■ 営業利益

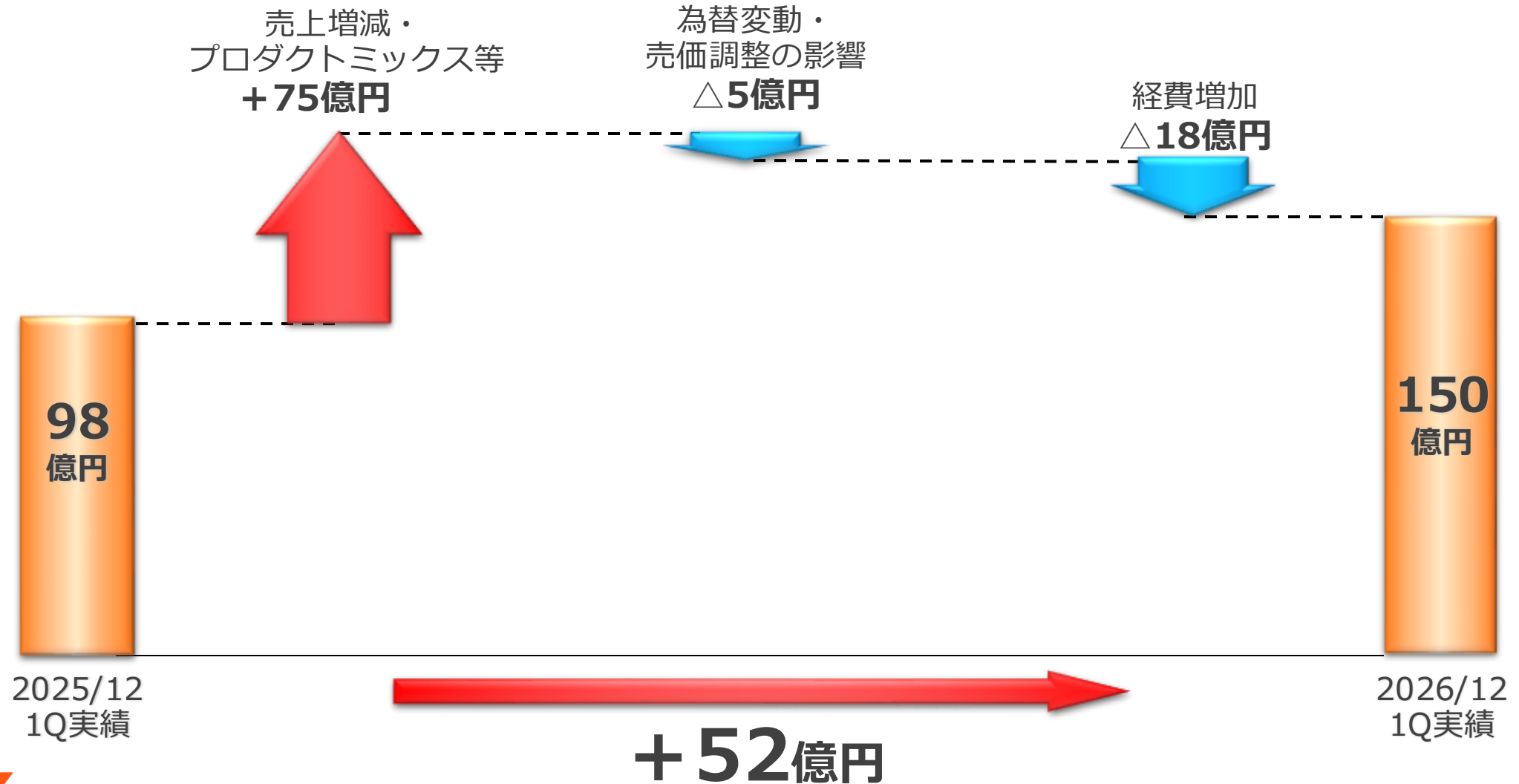
: 固定費の増加が見られたものの、売上高の増加により、前年同期比+53.8%の増益。

■ 親会社株主に帰属する四半期純利益

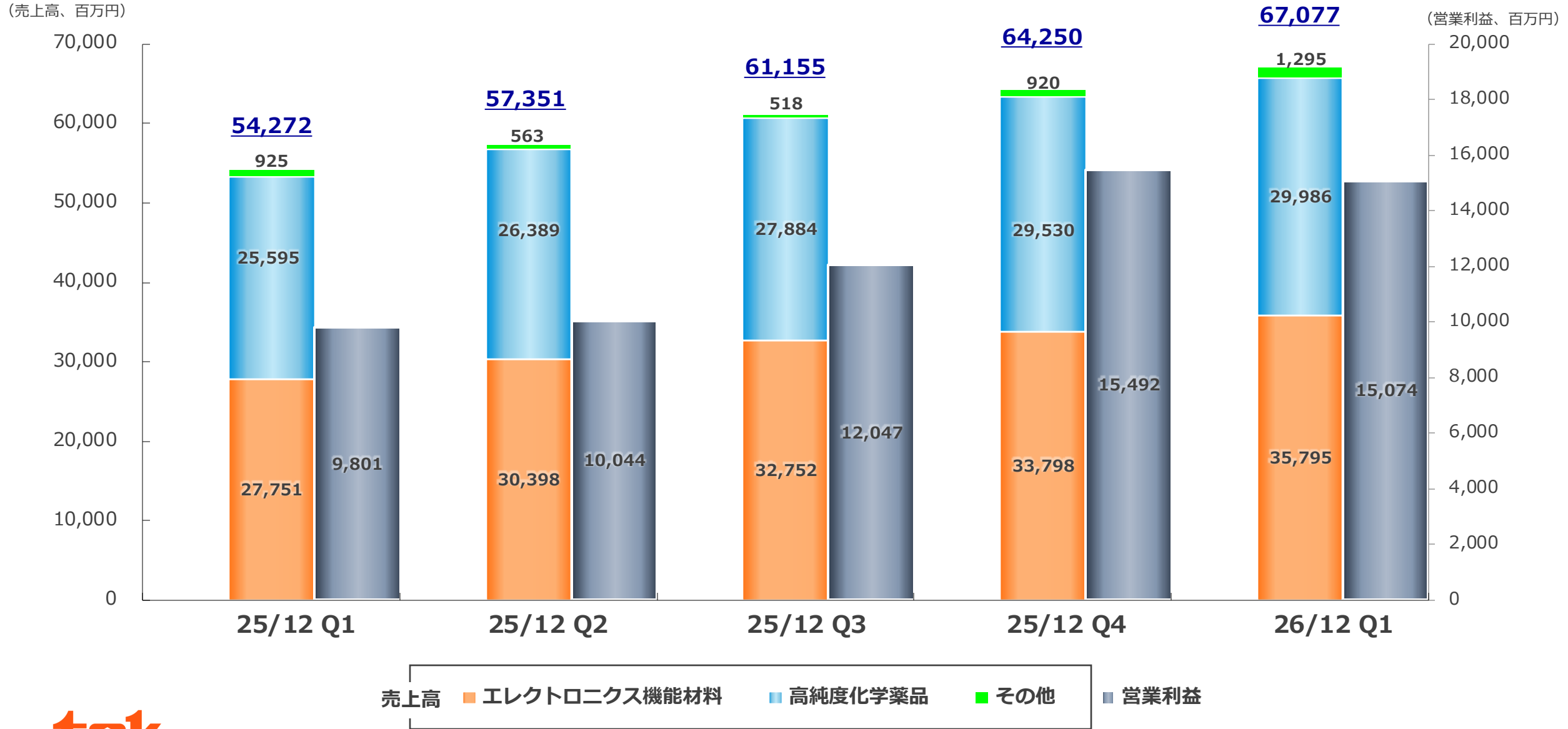
: 営業利益の増加等により、前年同期比+55.8%の増益。

営業利益の増減内訳

2025年12月期1Q実績 対 2026年12月期1Q実績



売上高・営業利益 四半期推移



設備投資・減価償却・研究開発進捗

(百万円、%)

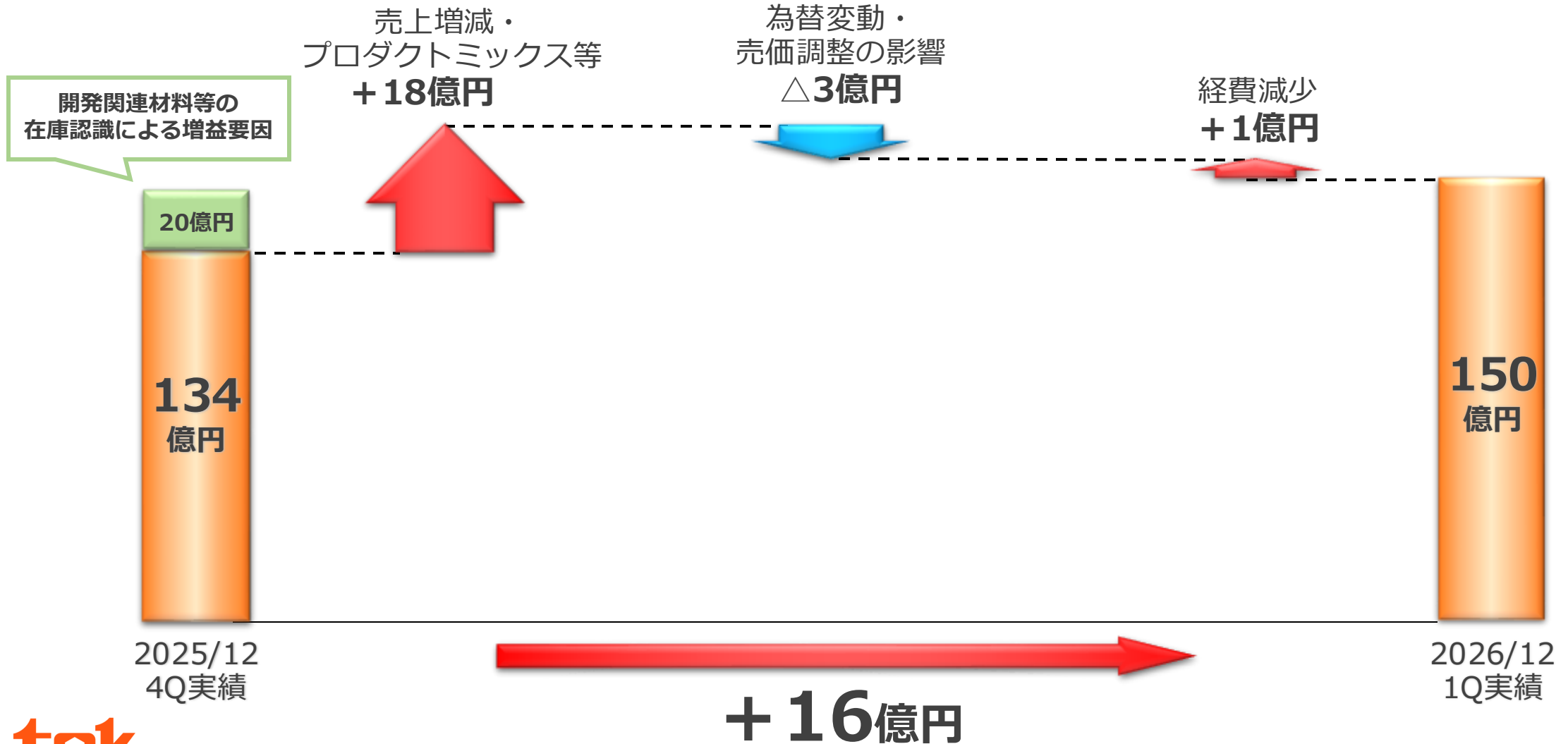
	2025/12 1Q	2026/12 1Q			年間計画	進捗率(%)
			増減	増減率(%)		
設備投資等	8,740	9,178	+437	+5.0	35,800	25.6
減価償却費	2,064	2,583	+519	+25.1	11,300	22.9
研究開発費	4,168	4,357	+189	+4.5	18,200	23.9

豊かな未来、社会の期待に化学で応える
“The e-Material Global Company™”

Appendix

営業利益の増減内訳 (1Q QoQ)

2025年12月期4Q実績 対 2026年12月期1Q実績



www.tok.co.jp

<ご注意>

本資料の業績予想は、現時点において見積もられた見通しであり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。

したがって、実際の業績は、様々な要因やリスクによりこの業績予想とは大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。